

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月15日

静岡県知事

川勝 平太 殿

提出者

住 所 静岡県沼津市大塚627-2

氏 名 株式会社 一杉興業

代表取締役 一杉 昭宏

電話番号 055-966-5383

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他のその処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 一杉興業
事業場の所在地	沼津市大塚627-2
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業（総合工事業）
② 事業の規模	2億円
③ 従業員数	17名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリート 殻・アスファルト コンクリート 殻・木くず・建 設系混合廃棄 物・廃プラス チック類・金属 類 → 収集運搬委託（収集運 搬・処分契約） → 中間処理最終処分 （処分委託契約） → 自社運搬

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長→専務取締役（廃棄物責任者）→現場代理人

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和3年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
(これまでに実施した取組) 廃棄物抑制法を提案していく			
②計画	【目標】 別紙①		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
(今後実施する予定の取組) 路上再生路盤工法など廃棄物抑制法を提案していく			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場で発生するコンクリート塊及びアスファルト塊がほとんどの量を占めそのほかの種類で分別処理する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（令和3年度）実績】				
		産業廃棄物の種類				
①現状		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0	t	0	t
		(これまでに実施した取組) 自ら利用再生は行わない				
		【目標】				
		産業廃棄物の種類				
②計画		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0	t	0	t
		(今後実施する予定の取組) 今後も自ら利用再生を行う計画はない				

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（令和3年度）実績】				
		産業廃棄物の種類				
①現状		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0	t	0	t
		自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0	t	0	t
		(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行わない				
		【目標】				
		産業廃棄物の種類				
②計画		自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0	t	0	t
		自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0	t	0	t
		(今後実施する予定の取組) 今後も中間処理は行わない				

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和3年度）実績】	
①現状		産業廃棄物の種類	0 t 0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		0 t	0 t
(これまでに実施した取組)		これまで自社で埋立処分または海洋処分を実施したことはない	
		【目標】	
②計画		産業廃棄物の種類	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和3年度）実績】 別紙①	
①現状		産業廃棄物の種類	
全処理委託量		t	t
優良認定処理業者への処理委託量		t	t
再生利用業者への処理委託量		t	t
認定熱回収業者への処理委託量		t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
(これまでに実施した取組)			

【目標】 別紙②		
	産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	- 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t 0 t
②計画 (今後実施する予定の取組) 今後も適正な処理業者へ委託する		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請

じ
ま
と。
完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応
じ
事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了する
での一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら
中間
間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中
間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託
量
行
收
あ
へ
と
の
入
を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施
令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回
施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）で
ある処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者
の焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙の
おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物
種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記
すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないとき
は、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和3年度)の実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	排出量	1487t	3t
	産業廃棄物の種類	建設混合物	廃プラスチック
	排出量	3t	5t
②計画	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	建設汚泥
	排出量	1t	9t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器
	排出量	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	1487t	3t
	優良企業への処理委託量	481t	3t
	再生利用業者への処理委託量	1006t	3t
	認定熱回収業者への委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器
	全処理委託量	3t	5t
	優良企業への処理委託量	0t	5t
	再生利用業者への処理委託量	3t	5t
	認定熱回収業者への委託量	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
②計画	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	建設汚泥
	全処理委託量	1t	9t
	優良企業への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
③目標	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
	全処理委託量	1487t	3t
	優良企業への処理委託量	481t	3t
	再生利用業者への処理委託量	1006t	3t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
④現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	ガラス・陶磁器
	全処理委託量	3t	5t
	優良企業への処理委託量	0t	5t
	再生利用業者への処理委託量	3t	5t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
⑤計画	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	建設汚泥
	全処理委託量	1t	9t
	優良企業への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
⑥目標	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器	建設汚泥
	全処理委託量	1t	9t
	優良企業への処理委託量	0t	0t
	再生利用業者への処理委託量	0t	0t

別紙②

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	建設汚泥
②計画	全処理委託量	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
	優良企業への処理委託量	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
	再生利用業者への処理委託	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
	認定熱回収業者への委託	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
	産業廃棄物の種類	建設混合物	廃プラスチック	ガラス・陶磁器
	全処理委託量	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
	優良企業への処理委託量	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
	再生利用業者への処理委託	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
	認定熱回収業者への委託	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様	前年度実績値と同様
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量			
	優良企業への処理委託量			
	再生利用業者への処理委託量			
	認定熱回収業者への委託量			
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量			